

<認知症対応型共同生活介護用>

<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	8
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	2
5. 人材の育成と支援	0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	14910000095
法人名	セントケア神奈川株式会社
事業所名	セントケアホーム東戸塚
訪問調査日	平成29年1月27日
評価確定日	平成29年3月31日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について

外部評価は20項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[次ステップに向けて期待したい内容]

次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成 28 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 columns: 事業所番号, 事業の開始年月日, 指定年月日, 法人名, 事業所名, 所在地, サービス種別, 定員等, 自己評価作成日, 評価結果市町村受理日.

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先, [Blank]

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気の中で、入居者様おひとりお一人の個性を尊重しながら、安心、安全、穏やかに生活が出来るように努めています。また、生き甲斐や遣り甲斐持ちながら過ごせますよう、生活リハビリをして頂いています。また、季節のレクリエーションを大切にし入居者様に季節を感じて頂けるように心がけています。身体的には、近くの公園への散歩は日課となっており、ご近所の皆様との交流も図れるように努めています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 4 columns: 評価機関名, 所在地, 訪問調査日, 評価機関評価決定日.

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●この事業所の運営母体は、セントケア神奈川株式会社です。同法人は「福祉の創造・生き甲斐の創造・ケア産業の創造」の3つをコンセプトとして掲げており、神奈川県内で訪問看護・デイサービス・グループホーム・小規模多機能事業所などの施設運営から、訪問・居宅支援・福祉用具の取り扱いまで福祉事業を幅広く展開しています。セントケアホーム東戸塚はJR横須賀線「東戸塚駅」から徒歩15分、近くに大型の県営川上第2団地や春には桜の花で彩られ緑も多い上品濃公園そして少し足を伸ばすと名瀬川支流の小川が流れる住宅街の一面にグループホームとして設計建築された機能的な2階建ての事業所です。●事業所の理念は、「笑顔と信頼」です。この理念を玄関と各フロアと事務室に掲示し職員の目につくようにしています。理念を日々のケアに繋げるために、「お客様への10の誓い」を立て、朝礼時には10の誓いを職員で読み合せています。管理者は、10の誓いのうち「親しくなっても、礼儀を忘れません」を職員に常に意識するように促しています。夕礼時には、法人の経営方針書、事業所の経営目標を職員の輪番制で読み合わせています。●ケアについては、一人ひとりに寄り添い、その人の出来ないことを手伝えることを根幹におきながら、個性を尊重し、その人の生き甲斐や、やり甲斐を引き出せるようなケアに努めています。生活リハビリや季節のレクリエーションも取り入れ、利用者のADLの維持と向上、四季を感じてもらいながら楽しんでいただくことで、一人ひとりの生き甲斐、やり甲斐を引き出せるよう、日々利用者に寄り添いながら質の高いケアサービスを提供できるよう取り組んでいます。●新たな取り組みとして、今年の3月から共用型デイサービスを開始することが決定しています。グループホームの入居を検討している方々を対象とした試みで、今現在、この事業所の入居待機者は多くいますが、より多くの方にグループホームを認知、理解していただくきっかけになればと言う狙いもあります。共用型デイサービスを利用することで、グループホームの利用者、職員と共に生活リハビリに繋がりが生活機能の向上が期待できます。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

Table with 3 columns: 評価項目の領域, 自己評価項目, 外部評価項目.

事業所名	セントケアホーム東戸塚
ユニット名	1F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
				実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	方針書及びホームの経営目標を年度ごとに作成し、朝礼時お客様への10の誓い。夕礼時に輪番制で読み合わせをし、スタッフ全員が実践できるようにしています	事業所の理念は、「笑顔と信頼」です。この理念を玄関と各フロアの事務室に掲示しています。理念を日々のケアに繋げるために、「お客様への10の誓い」を立てています。朝礼時には、10の誓いを職員で読み合わせを行っています。管理者は、10の誓いのうち「親しくなっても、礼儀を忘れません」を職員に常に意識するように促しています。夕礼時には、法人の経営方針書、事業所の経営目標を職員の輪番制で読み合わせしています。		今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に毎年継続して加入しています。地域の方にイベント時はお誘いをしています	自治会に加入し、自治会の公園の風あげを見学し、利用者の散歩時には近隣の方々にこちらから挨拶をするなど日常的な地域との交流は行っています。また、事業所の行事（餅つき、お祭り等）に地域の方にも声をかけ、交流を図るようにしています。ボランティアでは回想法を使った歌の指導、体操、聞き書きの輪の方の訪問があります。		今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の中学校の職業体験を実施しました。継続していきたいです。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年に6回実施しており、地域の情報やホームの取り組みをお話させて頂き、貴重なご意見を頂いております	運営推進会議は、2ヶ月に1回実施しています。メンバーは・地域ケアプラザ職員、自治会副会長、民生委員、家族、職員です。事業所の現況を報告、災害時における町内会の協力の呼びかけ、体制について話し合っています。地域からの支援を願いすると共に、地域に向けて事業所で出来る範囲の支援についても提案しています。		今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	戸塚区相談員の方に月に1度来訪して頂き、ご意見を頂いています。年に1回懇談会に参加し、地域の事業所の皆様との交流をしています	介護相談員の訪問が月1度あるので、相談員からの言葉を利用者の言葉として受け止めています。相談員の受け入れを行っている全ての事業所が集まる懇談会が年1回開催され、管理者が参加して情報交換しています。区の介護保険課とは、各研修や事故報告、要介護認定など通常業務で交流しています。地域包括支援センターは運営推進会議への出席やボランティアの紹介などで連携を図っています。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期研修（熟練研修）にて身体拘束・虐待への正しい知識が持てるようにし、日頃より意識し務める事が出来るようにしています。日中の玄関やフロアーは解錠しています。フロアーのみスタッフやお客様の状態により一時的に施錠することもあります	身体拘束をしないケアは、熟練研修でも必ず取り上げ、全職員が受講し、身体拘束に関するに対する正しい知識を身につけるよう指導しています。日常介護の中で、無意識に行う身体拘束グレーゾーンについては常に話し合うようにしています。職員がフロアを離れる時のみユニットの入り口は家族の了解を得て施錠していますが、日中は玄関の施錠はしていません	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	研修での知識が持てるようにする事。また、日々のケアの中でも常に正しくサービスが行えるように指導しています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内の研修に管理者、リーダーが出席し理解を深めています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、重要事項説明書・契約書を読み合わせにて行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や、イベントにはご家族様にお誘いし、沢山のご意見やご要望をお聞き出来る機会を設けています。また、年に1回ご家族様にアンケート調査を依頼し、運営に反映できるようにしています	家族の意見等は来訪時、電話、家族会及び運営推進会議等で聴取しています。来訪の少ない方には利用者の日々の生活の様子や健康面等を連絡するようになっています。各利用者の意見・要望は職員が直接聞く事が多く、日々のケアに反映させています。年3回（1月、5月、9月）家族会を開催し要望聞いています。年1回家族のアンケート行い、意見や要望をいただき運営に活かしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティングや研修を通じ、スタッフとの意見交換をし、日々に反映できるようにしています	職員の意見、要望は基本的にはミーティング・カンファレンスで聞くようにしています。管理者はミーティング以外にも日常的に職員一人ひとりと話す機会を多く設け、意向を把握するよう努めています。個別面談は、正社員が7月、12月の考課時に行います。契約社員は、契約更新時に意見、要望、提案を聞くようにしています。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	シフトは管理者が作成しています。契約更新時に面談を行い今後の取り組みや目標を聞き、話し合える時間を持っています		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社時の採用時研修を受講。他現任者には、社内研修に参加し知識や技術の向上が出来るようにしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	年に1回の戸塚区相談員懇談会に出席しています。月に1回訪問させていただき、ご挨拶をさせて頂いています		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前には、ご本人面談をさせて頂き、直接お話を伺っています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ホームご見学や、待機中にもご連絡させていただき、現状教をお聞きしています。入居時にはメモリーブックにご記入いただき、ご家族様のご要望をお聞きしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者様やご家族様のご希望をお聞きし、主治医変更や訪問歯科・皮膚科のご紹介しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活リハビリ（掃除や洗濯、配膳等）ご利用者様の能力に応じ行っています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様のご訪問は積極的にお願いをしています。運営推進会議やイベントにはお誘いをし来訪できる機会を作れるようにしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お手紙やお電話ご訪問に関して制限なく受け入れております	家族や友人等、馴染みの関係が途切れないように支援しています。お正月には、利用者一人ひとりの家族や友人への年賀状書きの手伝いも行っています。友人の関係は徐々に疎遠になっていくことも多いので、散歩、買い物、外食の際に地域の方との交流が出来るように支援しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様の能力に合わせたレクリエーションを行うようにしている。また、個々の趣味やお好きな事を把握し行っています		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご退居後も、お見舞いやご挨拶に伺いました。また、イベント時にはお誘いしました。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活歴をご入居前にメモリーブックに記入して頂き、スタッフ全員が共有できるようにしています	基本情報と暮らしの情報、これまでの人生の経過、思いや希望について、入所前のアセスメントをメモリーブックに記録し把握しています。入居後は日々の支援の中で、本人からふと漏れる言葉、家族の発言、職員の気づき等を日常生活経過記録に記録しています。記録した内容については可能な限りケアプランに反映させています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	メモリーブックや、ご利用者様、ご家族様よりお話を聞きし把握できるようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	メモリーブックを参考にしながら、日々の生活の中で気付いたことを記入し共有できるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご入居時に記入して頂くメモリーブックを参考にしながら、面会時やケアプラン更新時にご家族様のご要望等をお聞きしてケアを行えるようにしています	入所時は初回ケアプランにより1ヶ月経過観察して見直しケアプランを作成し、その後は3ヶ月後に見直しを行っていますが、通常の見直しは6ヶ月を基本としています。見直したケアプランは、家族の希望、医師や看護師の意見を入れて、職員のケアカンファレンスで検討作成しています。利用者の症状によっては、医師、看護師と家族、職員が直接話し合い医療と介護の両面から作成しています。	今後の継続	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	お客様個々の記録を日常生活記録へ記入しています。気付いたことは連絡ノートへ記入し共有できるようにしています			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	柔軟なサービスが出来るように、ホーム内外問わず、その時にあったサービスが行えるようにしています			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアさんや、戸塚区役所より相談員さんに訪問して頂いています			
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様とご家族様とご相談しながら、決定しています	かかりつけ医の選択については、家族の意向を尊重しています。事業所では2ヶ所の内科医を協力医としており、それぞれ月2回の往診、歯科は週1回の定期往診があります。看護師は毎週、同法人の訪問看護ステーションを活用し、利用者の健康管理に来てくれています。。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションの週1回の往診や、状態変化時には随時連絡し、ご相談しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院後にサマリーをお届けし情報共有をしています。今後の方向性はソーシャルワーカーや主治医・ご家族様にご相談しながらすすめています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化・お看取りのお話を契約時にさせて頂いています。また、今後の方針等は適時ご家族様と主治医・ホームとで話す機会を設けすすめています	重度化や終末期に向けての対応については、契約時に家族との話し合いの中で十分な説明をしています。過去にも看取りの実績があり、協力医療機関とは24時間のオンコール体制を整えています。重度化した場合には、今後の方針等について家族、医療関係者、市業所で話し合いの場を設け、家族の意向に沿って対応しています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応について、CPR故障の日々朗読。入社時にはCPR研修を受講しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年3回防災訓練を実施しています。熟練研修や防災呼称の朗読を日々行っています。	防災訓練は、本部防災担当者の立会いの下、地震、火災昼、火災夜を想定しての年3回実施しています。また、熟練研修で学ぶと共に、防災呼称の朗読を行うなど緊急時に備え準備しています。運営推進会議では、地域の方々の協力を呼びかけ、事業所でも協力できることを伝えるなど協力体制を築いています。備蓄品は、水、缶詰、カンパン、羊羹などの食料品の他にランタン、ラジオ、簡易トイレ等を備えています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	採用時研修や認知症研修を受講しています。また、月1回のミーティング時に話し合いを行っています	事業所では、職員全員が認知症ケア研修を受講し、ミーティング・カンファレンス時に一人ひとりの人格を尊重とプライバシーを損ねない言葉かけや対応について常に話し合い、実践しています。利用者の自己決定権の尊重の例として、食事、入浴、散歩、外出などの時間や内容について本人の希望を反映するようにしています。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お客様の意志を尊重し、ご希望をお聞きしたり、選択して頂けるようにしています	/		/
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様本位のケアが出来るように、所長、ケアマネ、計画作成、リーダーが常に情報交換をしスタッフに指導しています			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合った洋服選びが出来るように配慮しています。月に1度訪問理容利用のご希望をお聞きし、おこなっています			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	お客様の出来る事は把握し、安全に行えると共に遣り甲斐のある生活が出来るようにしています	セントケアの全グループホームは管理栄養士によるカロリー計算、食材の統一調達、調理専任スタッフによる調理が統一、徹底されており、介護スタッフは介護に専念出来る体制となっています。利用者にはテーブル拭き、トレー拭き、片付け等実施してもらい、生活リハビリにも役立てています。おやつレクとして、ホットケーキ、たこ焼き、お好み焼き、利用者の誕生日ケーキなどを作って楽しんでいただいています	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	社内フードサービス部にて栄養士が立てたメニューを提供しています。水分や食事は個々に記入し把握できるようにしています			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	週1回の訪問歯科や口腔セミナー受講。毎食後お客様の口腔ケアを行い清潔に保てるようにしています			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	出来る限りトイレでの排泄が出来るように定期的にお声かけをしています。排泄時には個々に記入し把握、共有できるようにしています	トイレに座って排泄できることを目標としています。座位をとることによって排便が出来るようになった人もいます。一人ひとりの排泄パターンを把握し、定時の声かけや、タイミングを見計らって声かけるなど、職員全員が協力し、できるだけ排泄はトイレで行なえるよう支援を心掛けています。		今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	栄養士によるバランスのとれたお食事を摂取できるようにしています。日課となっています散歩を行い運動不足防止をおこなっています。			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	お客様の羞恥心に配慮しながら、定期的に入浴・清潔が保てるようにしています	利用者の意思を第一に考えて、入浴は週2、3回を基本として支援しています。お風呂は毎日沸かしておくことで、臨機応変に対応できるように準備しています。季節に応じて、柚子や菖蒲湯などで変化を付けたり、入浴時の会話の時間も大切にしています。入浴拒否の強い方には、家族の協力や声掛けの工夫、時間の変更など試行錯誤しながら入浴を促すよう支援しています。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様の状態により休んで頂いています。また、夜間の不眠が継続的な場合には医師に相談しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情はスタッフ是認が把握できるように入るに緩じ、いつでも見れるようにしています。頓服や薬変更時には口頭とノートへ記入し共有しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	メモリーブックやご本人様、ご家族様とお話をしながら、楽しみ、遣り甲斐のある生活が送れるようにしています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お客様のご要望をお聞きし、買い物や散歩へ出かけています。外との繋がりが持てるよう外出の機会を作っています	日常的な外出は、天候や体調に合わせて近隣の上信濃公園、観音堂へ出掛けています。花の見られる時期には、季節を感じていただけるよう、買い物を兼ねて外出の機会をつくっています。家に帰りたくなった人や不穏になった人には、車に乗って周辺をドライブに行くことで、落ち着きを取り戻す場合もあります。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ホームでお預かりをしていますが、同行にて買い物へ出かけています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お手紙や電話利用は可能です。お客様のご希望に応じて対応しています			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じて頂けるよう壁画創作や、イベントを行っています。フローア、居室の湿度、温度を保ち換気を行い過ごしやすい環境を整えています	家庭ででの生活の延長の場として、落ち着いた環境になるように配慮しながら家具等を配置しています。共用空間は、広くゆったりとし、日当たりも良く、利用者の季節の作品（貼り絵・折り紙）やイベントの写真を簡素に飾り、落ち着いて過ごせる雰囲気作りを心がけています。食後はソファで寛ろぎながらテレビを見たり、会話をして過ごしている方もいます。居室・フローアの空調や湿度等チェックをし、過ごしやすい環境作りをしています。		今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フローアはお食事等に限らず、自由に過ごして頂いています。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、ご自宅で使い慣れたものをお持ちいただき、ご本人が安心して過ごせるようにしています	居室には、エアコン、クローゼット、照明器具、洗面台が備え付けとなっています。家具類は使い慣れた馴染みの物を持参し、家族と相談しながら配置し、居心地良く過ごせる空間作りをしてもらっています。テーブル、椅子、鏡の他に人形・家族の写真等で居室をご自分の好みの住まいとして生活しています。		今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できること、出来ない事をミーティングやカンファレスで話し合い残存能力を失わないよう援助しています。			

目標達成計画

事業所

セントケアホーム 東戸塚

作成日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	セントケアホーム東戸塚
ユニット名	2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	方針書及びホームの経営目標を年度ごとに作成し、朝礼時お客様への10の誓い。夕礼時に輪番制でr読み合わせをし、スタッフ全員が実践できるようにしています		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に毎年継続して加入しています。地域の方にイベント時はお誘いをしています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の中学校の職業体験を実施しました。継続していきたいです。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年に6回実施しており、地域の情報やホームの取組みをお話させて頂き、貴重なご意見を頂いております		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	戸塚区相談員の方に月に1度来訪して頂き、ご意見を頂いています。年に1回懇談会に参加し、地域の事業所の皆様との交流をしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期研修（熟練研修）にて身体拘束・虐待への正しい知識が持てるようにし、日頃より意識し務める事が出来るようにしています。日中の玄関やフロアーは解錠しています。フロアーのみスタッフやお客様の状態により一時的に施錠することもあります		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修での知識が持てるようにする事。また、日々のケアの中でも常に正しくサービスが行えるように指導しています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内の研修に管理者、リーダーが出席し理解を深めています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、重要事項説明書・契約書を読み合わせにて行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や、イベントにはご家族様にお誘いし、沢山のご意見やご要望をお聞き出来る機会を設けています。また、年に1回ご家族様にアンケート調査を依頼し、運営に反映できるようにしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティングや研修を通じ、スタッフとの意見交換をし、日々に反映できるようにしています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	シフトは管理者が作成しています。契約更新時に面談を行い今後の取り組みや目標を聞き、話し合える時間を持っています		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社時の採用時研修を受講。他現任者には、社内研修に参加し知識や技術の向上が出来るようにしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	年に1回の戸塚区相談員懇談会に出席しています。月に1回訪問させていただき、ご挨拶をさせていただきます		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前には、ご本人面談をさせて頂き、直接お話を聞きしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ホームご見学や、待機中にもご連絡させていただき、現状教をお聞きしています。入居時にはメモリーブックにご記入いただき、ご家族様のご要望をお聞きしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者様やご家族様のご希望をお聞きし、主治医変更や訪問歯科・皮膚科のご紹介しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活リハビリ（掃除や洗濯、配膳等）ご利用者様の能力に応じ行っています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様のご訪問は積極的にお願いをしています。運営推進会議やイベントにはお誘いをし来訪できる機会を作れるようにしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お手紙やお電話ご訪問に関して制限なく受け入れております		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様の能力に合わせたレクリエーションを行うようにしている。また、個々の趣味やお好きな事を把握し行っています		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご退居後も、お見舞いやご挨拶に伺いました。また、イベント時にはお誘いしました。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活歴をご入居前にメモリーブックに記入して頂き、スタッフ全員が共有できるようにしています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	メモリーブックや、ご利用者様、ご家族様よりお話を聞きし把握できるようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	メモリーブックを参考にしながら、日々の生活の中で気付いたことを記入し共有できるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご入居時に記入して頂くメモリーブックを参考にしながら、面会時やケアプラン更新時にご家族様のご要望等をお聞きしてケアを行えるようにしています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	お客様個々の記録を日常生活記録へ記入しています。気付いたことは連絡ノートへ記入し共有できるようにしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	柔軟なサービスが出来るように、ホーム内外問わず、その時にあったサービスが行えるようにしています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアさんや、戸塚区役所より相談員さんに訪問して頂いています		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様とご家族様とご相談しながら、決定しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションの週1回の往診や、状態変化時には随時連絡し、ご相談しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院後にサマリーをお届けし情報共有をしています。今後の方向性はソーシャルワーカーや主治医・ご家族様にご相談しながらすすめています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化・お看取りのお話を契約時にさせて頂いています。また、今後の方針等は適時ご家族様と主治医・ホームとで話す機会を設けすすめています		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応について、CPR故障の日々朗読。入社時にはCPR研修を受講しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年3回防災訓練を実施しています。熟練研修や防災呼称の朗読を日々行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	採用時研修や認知症研修を受講しています。また、月1回のミーティング時に話し合いを行っています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お客様の意志を尊重し、ご希望をお聞きしたり、選択して頂けるようにしています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様本位のケアが出来るように、所長、ケアマネ、計画作成、リーダーが常に情報交換をしスタッフに指導しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合った洋服選びが出来るように配慮しています。月に1度訪問理容利用のご希望をお聞きし、おこなっています		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	お客様の出来る事は把握し、安全に行えると共に遣り甲斐のある生活が出来るようにしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	社内フードサービス部にて栄養士が立てたメニューを提供しています。水分や食事は個々に記入し把握できるようにしています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	週1回の訪問歯科や口腔セミナー受講。毎食後お客様の口腔ケアを行い清潔に保てるようにしています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	出来る限りトイレでの排泄が出来るように定期的にお声かけをしています。排泄時には個々に記入し把握、共有できるようにしています		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	栄養士によるバランスのとれたお食事を摂取できるようにしています。日課となっています散歩を行い運動不足防止をおこなっています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	お客様の羞恥心に配慮しながら、定期的に入浴・清潔が保てるようにしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様の状態により休んで頂いています。また、夜間の不眠が継続的な場合には医師に相談しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情報はスタッフ是認が把握できるように入るに綴じ、いつでも見れるようにしています。頓服や薬変更時には口頭とノートへ記入し共有しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	メモリーブックやご本人様、ご家族様とお話をしながら、楽しみ、遣り甲斐のある生活が送れるようにしています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お客様のご要望をお聞きし、買い物や散歩へ出かけています。外との繋がりが持てるよう外出の機会を作っています		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ホームでお預かりをしていますが、同行にて買い物へ出かけています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お手紙や電話利用は可能です。お客様のご希望に応じて対応しています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じて頂けるよう壁画創作や、イベントを行っています。フローア、居室の湿度、温度を保ち換気を行い過ごしやすい環境を整えています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フローアはお食事等に限らず、自由に過ごして頂いています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、ご自宅で使い慣れたものをお持ちいただき、ご本人が安心して過ごせるようにしています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できること、出来ない事をミーティングやカンファレスで話し合い残存能力を失わないよう援助しています。		

目標達成計画

事業所

セントケアホーム 東戸塚

作成日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。